

2021年度 日本工学院専門学校											
ミュージックアーティスト科／プレイヤーコース											
音楽基礎B 4											
対象	2 年次	開講期	後期	区分	選択	種別	講義	時間数	30	単位	2
担当教員	田中綾美			実務 経験	有	職種	キーボーディスト				
授業概要											
音楽理論の基礎をしっかりと身につける。記号の書き方、音符の長さなどの基本から、スケール、音程までは最低でもしっかりと理解し、楽譜をきつちりと読めるようにする。また、自身の曲を書く学生は、自身の曲の譜面を書けるようにする。											
到達目標											
様々な基本用語を覚え、実際の実習で活かせるようにする。また、様々な手法を駆使して、自身のオリジナル楽曲にいかせるようにする。既存曲も自身で楽曲分析を出来るようにする。											
授業方法											
なるだけ少人数制のグループで丁寧に授業を進めていく。授業開始にはならず復習の小テストを行い、何度も繰り返し行う事によって、徹底して理解させる。理論の理解を深め定着させていく。											
成績評価方法											
試験・課題 成果発表 平常点	70% 20% 10%	課題毎に提出。検定試験の受験・点数により評価 授業内に行われるロールプレイング・グループワークにより評価 積極的な姿勢									
履修上の注意											
理解度の高い学生と、そうでない学生との差が大きいため、上手くそれぞれに合わせた授業内容で進めていく。理解できていない学生には別途、個人レッスンをおこない、とりこぼしのないように進めていく。出席率、提出率が4分の3を満たしていない者、4分の3以上出席しない者は、定期試験受験不可、進級できない。											
教科書教材											
毎回授業にて資料配布を行う 参考書・参考資料等は授業中に指示をする											
回数	授業計画										
第1回	セカンダリーの使用方法を楽曲分析にて理解させる										
第2回	実際の学生の曲にセカンダリーを入れてみる										
第3回	在る場合とない場合との違いを考察しながら、入れるポイントを理解する（2-5進行等）										
第4回	クリシェおよびその使用方法を分析にて理解させる										
第5回	既存曲を用いてカノン進行を理解する										
第6回	J-POPに良く用いられるいくつかのコードパターンを実際に使ってみる										

2021年度 日本工学院専門学校	
ミュージックアーティスト科／プレイヤーコース	
音楽基礎B 4	
第7回	モードについての理解、その使用方法等について理解する
第8回	後期試験を見据えた中間テストで理解を含める
第9回	様々なコードパターンを含む学校をアナライズする
第10回	学生から公募した楽曲をアナライズする
第11回	アポイドを用いたいくつかの例を挙げてその解説を行う
第12回	8小節のケーデンス内でセカンダリーを用いた作曲をする
第13回	8小節のケーデンス内でクリシェ、カノン進行を用いた作曲をする
第14回	作曲したものを授業内で発表する
第15回	後期テスト